

みんなで日本一の星空を守ろう!

# ほしぞらからの手紙

- 市民と星空をつなぐ大野市の星空通信 -

vol.3  
2021年 秋編

## 大野市に広がる星空文化 市民の取り組みやイベントをレポート

星空保護区の認定を目指す大野市内では、昨今、市民の星空に親しむ活動が、より活発になっています。今回はその一部をご紹介します。

阪谷小学校では、5・6年生の総合学習の時間に「星空保護区」について学び、多くの人へ伝えることを目指した授業が実施されています。

7月には保護者へ向けた発表会も行い、自分たちが学んだことを、上手なレポートにまとめ発表しました。その活躍は新聞にも掲載され、すっかり、星空保護区の取り組みを広める頼もしい存在となっています。

また和泉小・中学校では、児童家族や地域の方と共に、夏の夜空を見上げる天体観測会を実施。「奥越星を見る会」の山本さんから星座について学びながら、天体望遠鏡で土星や木星の観測も行いました。

和気あいあいと星空を見上げながら、子供たちに地域資源の大切さも伝えられた本イベントは、星空を大切にするまちとして、大変誇らしいものでしょう。

今後も星空に親しむ文化が広がり、多くの人が星空を楽しみながら、この美しい星空を守っていこうと思えたら良いですね。

※上記の発表会およびイベントは、新型コロナウイルスへの配慮を行い、実施しています。

### 星空保護区の認定に向けた課題は？

大きな課題は、前月号でも紹介した「星に優しい街灯」を南六呂師区に増やしていくことです。こちらは一步ずつ、認定される範囲に設置できるよう、市で準備が進んでいます。また、市民への理解・啓発も大切になりますが、こちらは市民の文化の広がりにより、順調と言えるでしょう。

ライトダウンイベントへのご協力も、  
ありがとうございました★三

THANKS!!

### 秋から冬にかけての天体の見どころ

## 月食&流星群を観測するチャンス再来! 秋の天体観測も楽しみがいっぱい♪

5月の皆既月食、そして8月のペルセウス座流星群と、今年の大天体イベントは、なかなか天候に恵まれませんでしたね。ですが、11月にまた月食(大変深い部分月食)がありますし、12月には「ふたご座流星群」も待っています。まだまだ天体イベントを楽しむチャンスは盛りだくさん。雲ひとつない夜空を願い、涼しげな季節の星空も楽しんでいきましょう。



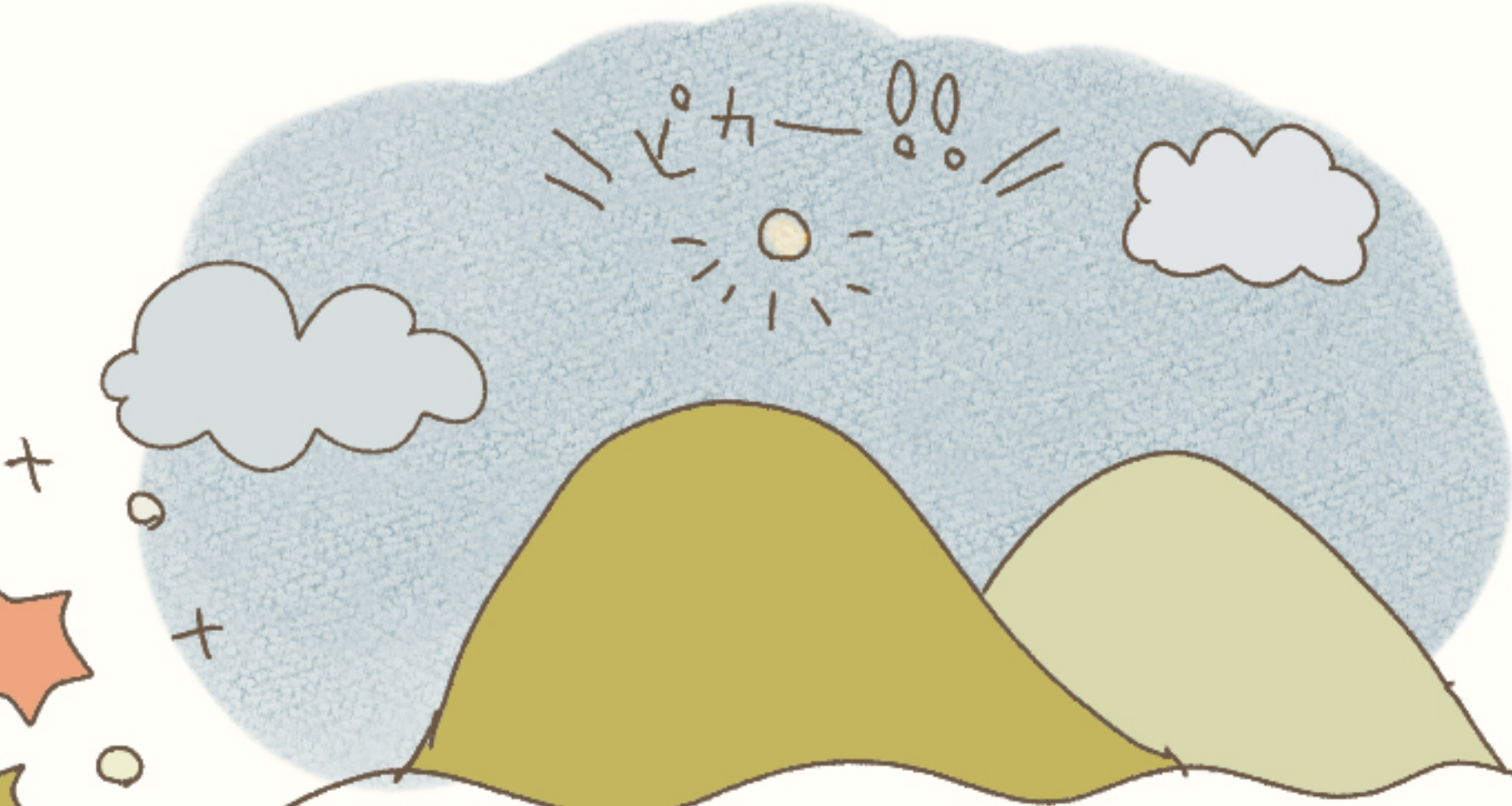
### 皆既月食に比較的近い11月の部分月食

11月19日の満月では部分月食が起こります。部分月食と言っても、この日の月食は、お月様がほとんど影に隠れる、「大変深い」月食なので、皆既月食と同じくらい変化を楽しめそうです。

ただし、月食が起こる時のお月様の位置が低いので、東の空がひらけて見える場所を、あらかじめ探しておきましょう。

### 月が沈んだあとは観測条件よし!ふたご座流星群を見よう

「ペルセウス座流星群」や「しぶんぎ座流星群」と共に三大流星群と呼ばれている「ふたご座流星群」。今年は12月14日の16時ごろにもっとも活発になると言われていますが、この日の月の明かりを考えると、15日のAM3時ごろから明け方にかけてが、観測条件の良い時間となりそうです。



### 12月上旬には金星も最大光度に(とっても明るく見える)

夕方になると、いち早く西側の空で輝いていた金星が、12月に最大光度をむかえます。大野市の澄んだ夕方の空に、いつも以上にキラキラと輝く姿は、さぞ美しく見えるでしょう。お仕事や学校終わりに空を見上げて、美しい金星に思いを馳せてみるのも良いかもしれません。

### 星空PRに向けて市内の情報を募集

市外への星空PRに向け、大野市内で「星空を楽しめるスポットがある」「星空を活かしたサービス、イベントを行っている」「星空の写真を撮影している(宣伝に使用してOK)」企業・個人さまの情報を募集しています。お問い合わせ&情報提供は: info@starry-ono.jp まで。

### 星ほごmobileのご紹介

星空保護区についてもっと知りたい方や、過去の「ほしぞらからの手紙」を読みたい方は、右のQRを読み込み、星ほごmobileからご覧ください。



### お知らせ

次回のほしぞらからの手紙  
2022年1月に冬編を予定しています。

お問い合わせ  
info@starry-ono.jp (地域おこし協力隊 望月)